

特定動物に関する遺棄・逸走事例（地方自治体アンケート、新聞記事）

地方自治体アンケート

特定動物の遺棄・逸走事例で、平成 11 年度～23 年度の期間で都道府県・政令指定都市等の地方自治体が確認しているものとして、103 件が把握された。  
 哺乳類ではニホンザル、爬虫類ではワニガメの事例が突出して多い。それ以外ではボアコンストリクター、インドニシキヘビ、メガネカイマンなどが目立っている。

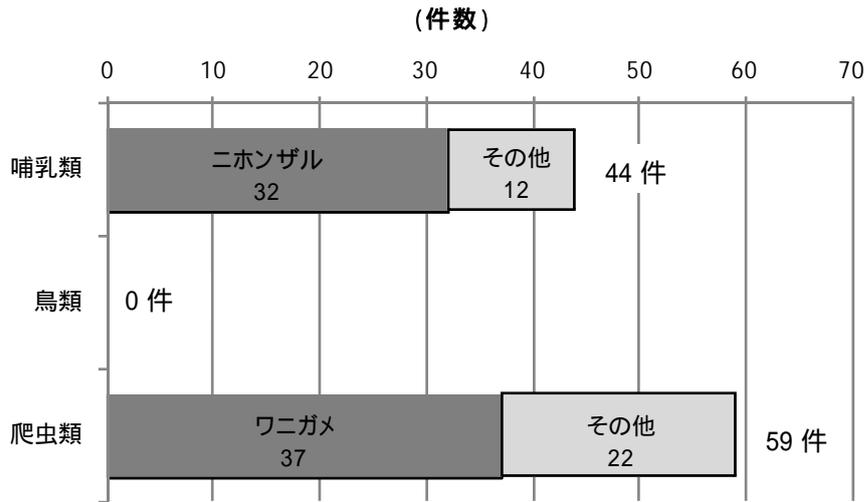


図 地方自治体で確認した特定動物の遺棄・逸走事例数 (平成 11 年度～23 年度、分類群別)

表 地方自治体で確認した特定動物の遺棄・逸走事例数 (平成 11 年度～23 年度、動物種類別)

	特定動物の種類	遺棄・逸走事例の件数
哺乳類	ニホンザル	32
	アカゲザル(注)	1
	ブタオザル	1
	シロテナガザル	1
	オランウータン	1
	チンパンジー	2
	ローランドゴリラ	1
	ライオン	1
	ツキノワグマ	3
	ヒグマ	1
	鳥類	-
爬虫類	ワニガメ	37
	カミツキガメ(注)	4
	ボアコンストリクター	5
	インドニシキヘビ(ビルマニシキヘビ)	4
	ニシキヘビ類	1
	エラブウミヘビ	2
	メガネカイマン	4
	ブラジルカイマン	1
	シャムワニ	1

注：詳細は次ページ以降の一覧を参照。

注：アカゲザルとカミツキガメについては、かつて特定動物に指定されていた時期の遺棄・逸走事例が報告されているもの。

出典：環境省動物愛護管理室調べ（地方自治体へのアンケートによる）

表 地方自治体が確認した特定動物の遺棄・逸走事例一覧（哺乳類）

特定動物	発生時期	自治体	数	捕獲等までの対応	捕獲後の個体処理
ツキノワグマ	平成12年	青森県	1	警察、保健所、猟友会、飼い主が搜索	捕獲できず、そのまま山へ逸走
ニホンザル	平成12年04月	愛知県	1	麻酔銃による捕獲	飼主による個体確認
ローランドゴリラ	平成12年08月	愛知県	1	立入調査、状況確認	飼主による個体確認
チンパンジー	平成12年08月	千葉市	1	施設管理者が麻酔銃により麻酔して捕獲	引き続き飼養継続
ブタオザル	平成12年09月	埼玉県	1	警察が捕獲した後に飼い主が判明	飼い主が無許可で飼育していたことが判明 飼い主に対して厳重注意 飼養許可取得を指導 許可取得
アカゲザル	平成12年10月	愛知県	1	立入調査、状況確認	入墨による個体確認
ライオン	平成12年12月	栃木県	1	飼養施設から逸走し飼養者が捕獲収容した。	飼養者が継続飼養した。
ニホンザル	平成13年01月	茨城県	1	オリから逸走したため、県が麻酔銃で捕獲した。	飼養者が引き続き飼養した。
ヒグマ	平成13年03月	北海道	7	飼養施設から7頭のヒグマが脱出し、6頭はほとんど施設に収容されたが、1頭は周辺を徘徊したため捕獲不能であり、人身事故発生の恐れもあったことから、約1時間後に射殺	施設に収容された6頭は飼養を継続
シロテナガザル	平成13年04月	愛知県	2	立入調査、状況確認	不明
ニホンザル	平成13年09月	愛知県	1	立入調査、状況確認	飼主による個体確認
ニホンザル	平成14年01月	栃木県	2	飼養施設から逸走し飼養者が捕獲収容した。	飼養者が継続飼養した。
ニホンザル	平成14年03月	愛知県	1	立入調査、状況確認	飼主による個体確認
ニホンザル	平成15年10月	岡山県	1	警察、保健所、動愛センター等で捕獲協力し、1週間以内に捕獲	購入施設に引取ってもらった。
ニホンザル	平成16年08月	栃木県	1	飼養施設から逸走し飼養者が捕獲収容した。	飼養者が継続飼養した。
ニホンザル	平成17年02月	静岡県		川にいたところを捕獲	記録なし
ニホンザル	平成17年08月	愛知県	40	立入調査、状況確認	入墨による個体確認
ニホンザル	平成18年06月	茨城県	1	オリから逸走したため、飼養者が追い込んで捕獲した。	飼養者が引き続き飼養した。
ニホンザル	平成18年10月	岡山県	1	警察、動愛センター等で翌日捕獲	動物園に預かってもらった。
ニホンザル	平成19年03月	大津市	2	飼養者が犬用捕獲オリを使用し、数日後捕獲	施設を改修し飼養継続
ツキノワグマ	平成19年06月	長野県	1	警察、行政、猟友会、自治会で搜索し保護	飼養継続
ニホンザル	平成20年02月	新潟県	1	棒で捕獲後、檻に収容。	外傷等により衰弱死。ペット壺園にて火葬。
ニホンザル	平成20年03月	山形県	1	即時捕獲	再飼養
チンパンジー	平成20年07月	石川県	1	動物園の飼育室から逸走し、園内で保護、動物舎に収容	継続して展示(飼育室の施設確認の徹底を指導)
ニホンザル	平成21年	東京都	1	飼い主が確保	飼養継続
ニホンザル	平成21年01月	静岡県	1	民家の倉庫に追い込み捕獲	所有者に返還
ツキノワグマ	平成21年03月	岩手県	2	檻を清掃中に不注意から檻の外に逃げ出したもの。1頭は飼い主の誘導により檻に戻ったが、別の1頭は興奮状態となり危害の発生が危惧されたため、飼い主が殺処分を選択したものの。	1頭は継続飼養(檻の周囲に施設できる囲いを設置)
ニホンザル	平成21年04月	岐阜市	1	警察が捕獲	飼養継続
オランウータン	平成21年04月	石川県	1	動物園の飼育場の観覧者通路に渡る空中綱渡りから観覧者通路に落ち、逃走したが、園内で保護、動物舎に収容	継続して展示、空中の綱渡り中止(施設撤去)
ニホンザル	平成21年05月	大津市	2	飼養者が犬用捕獲オリを使用し、数日後捕獲	施設を改修し飼養継続

表 地方自治体が確認した特定動物の遺棄・逸走事例一覧（哺乳類つづき）

特定動物	発生時期	自治体	数	捕獲等までの対応	捕獲後の個体処理
ニホンザル	平成21年08月	京都府	1	関係機関による搜索、住民への注意喚起	管理について指導後、飼養継続
ニホンザル	平成21年10月	名古屋市	1	市営動物園から逃走。近隣地域住民への広報、付近の小中学校、保育園等への注意喚起依頼。市営動物園が捕獲オリを設置し捕獲。	市営動物園で引き続き飼育。
ニホンザル	平成22年	東京都	1	動物園での逸走のため園で対応	飼養継続
ニホンザル	平成22年12月	兵庫県	1	上記と同一個体。逸走の事実を確認後、直ちに指導。動物愛護センター職員が捕獲。	警察の押収物として動物愛護センターが保管。許可取消後は動物園にて飼養されている。
ニホンザル	平成22年02月	兵庫県	1	逸走の事実を確認後、直ちに指導。個体は警察が捕獲。のちに措置命令。	飼養者に返還された。
ニホンザル	平成22年03月	愛知県	1	捕獲オリの貸出し	入墨による個体確認（捕獲時のショックにより死亡）
ニホンザル	平成22年12月	三重県	1	飼養者が搜索し、捕獲	継続飼養（逸走防止措置を指示）
ニホンザル	平成23年	東京都	1	無許可で逸走事故。センターは状況調査、警察署が捕獲対応	起訴手続きの間警察署が保管。その後許可を受けて飼養継続
ニホンザル	平成23年01月	静岡県	1	路上にいるところを捕獲	所有者に返還
ニホンザル	平成23年03月	茨城県	1	猿芸公演中に逸走し、警察が保護した。	飼養者が引き続き飼養した。
ニホンザル	平成23年03月	新潟県	1	麻酔銃等で捕獲。	継続飼養。
ニホンザル	平成23年07月	埼玉県	4	飼養業者に対して、逸走状況の確認及び早期捕獲を指示 警察・消防・役所との連携確保 保健所内の緊急連絡体制を確認 周辺住民への周知 飼養業者に対して報道機関への発表を指示	逸走した4頭のうち1頭のみ捕獲 捕獲された1頭は再飼養 飼養施設が山間部のため、残り3頭は現在も行方不明
ニホンザル	平成23年10月	静岡県	1	現在も逃走中	
ニホンザル	平成23年10月	愛知県	49	立入調査、状況確認	飼主による個体確認

表 地方自治体が確認した特定動物の遺棄・逸走事例一覧（爬虫類）

特定動物	発生時期	自治体	数	捕獲等までの対応	捕獲後の個体処理
ワニガメ	平成11年以降	福岡県	1	警察	大牟田市動物園保管
カミツキガメ	平成11年以降	福岡県	1	警察	大牟田市動物園保管
ワニガメ	平成11年以降	福岡県	1	警察	不明
メガネカイマン	平成12年08月	茨城県	1	県民からのワニ発見の通報を受け警察が捕獲した。	県外の施設に譲り渡した。
カミツキガメ	平成13年05月	静岡県		池にいるところを捕獲	記録なし
ニシキヘビ	平成13年09月	香川県	1	住民が通報し市職員が捕獲	警察署で一時預かり。翌日、飼主判明。
カミツキガメ	平成14～15年	栃木県	4	県内での発見が4例あり、動愛Cが収容。	許可取得施設へ譲り渡した。
ワニガメ	平成14年03月	和歌山県	2	警察が捕獲	博物館で飼養
エラブウミヘビ	平成14年07月	山形県	1	施設職員が探索し捕獲	貸出先へ返還
カミツキガメ	平成15年12月	静岡県		川にいるところを捕獲	記録なし
インドニシキヘビ	平成17年09月	さいたま市	1	さいたま市に隣接する上尾市でインドニシキヘビが発見され上尾警察署に捕獲された。後に現れた飼主の話によると、地震により生じた飼養設備の破損部から逸走したとのこと。	ヘビは捕獲後、群馬県のジャパンスネークセンターに移送、保護された。その後飼主に返還。

表 地方自治体が確認した特定動物の遺棄・逸走事例一覧（爬虫類つづき）

特定動物	発生時期	自治体	数	捕獲等までの対応	捕獲後の個体処理
ワニガメ(逸走)	平成17年06月	岡山市	1	飼い主の責任において、警察への通報と捜索し保護するよう指導保健所は、逸走した近隣に対しチラシを配布、注意を促した	飼い主が、すでに死んでいたワニガメを発見
ワニガメ	平成17年06月	神奈川県	1	警察署員が捕獲して、当所に持ち込まれた。	当所が7月11日に殺処分した。
メガネカイマン	平成17年09月	神奈川県	1	警察署員が捕獲して、2週間動物園で保護された後、当所に持ち込まれた。	当所で新たな飼主や引取り先を探したが、11月28日に死亡した。
ポアコンストリクター他	平成18年	東京都	3	ヘビ類が多数遺棄され警察署経由でセンターが保管	譲渡及び殺処分
ワニガメ	平成18年06月	愛媛県	1	遺棄:住宅地水路にて捕獲	安楽死
ワニガメ	平成18年07月	愛媛県	2	遺棄:住宅地水路、海岸にて捕獲	安楽死
ワニガメ	平成18年08月	愛媛県	1	遺棄:住宅地水路にて捕獲	安楽死
ポアコンストリクター	平成18年10月	金沢市	1	通報により、保健所職員が捕獲	いしかわ動物園に移送、保管
ワニガメ	平成18年11月	沖縄県	1	管轄警察署および市町村への情報提供	未捕獲
ポアコンストリクター	平成18年11月	静岡県		草むらにいたるところを捕獲	記録なし
ワニガメ	平成18年05月	高知市	1	警察と保健所で対応	岡山県のNPO法人に引取依頼
ビルマニシキヘビ	平成18年08月	大分市	1	発見者が捕獲し警察に届けた。	飼育希望者を公募し譲り渡した。
エラブウミヘビ	平成19年10月	沖縄県	1	管轄警察署および市町村への情報提供	未捕獲
ワニガメ	平成19年度	滋賀県	1	野生動物担当課が対応したため詳細不明	
ワニガメ	平成19年03月	和歌山県	2	警察が捕獲	水族館で飼養
ワニガメ	平成19年06月	大津市	1	警察が捕獲	無許可飼養だったため、許可をとらせ飼養継続
ワニガメ	平成19年06月	岡崎市	1	市民発見 警察へ通報 保健所捕獲	専門機関(大学)へ調査研究用として受け渡す
ワニガメ	平成19年06月	岡崎市	1	市民発見 警察へ通報 保健所捕獲	専門機関(大学)へ調査研究用として受け渡す
ワニガメ	平成19年06月	大分県	1	住民の自宅の庭で発見され、警察が捕獲	特定動物飼養・保管許可を取得している者に譲渡
ワニガメ	平成19年07月	岡崎市	1	市民発見 保健所へ通報 保健所捕獲	専門機関(大学)へ調査研究用として受け渡す
ワニガメ	平成19年07月	愛媛県	1	遺棄:住宅地水路にて捕獲	安楽死
メガネカイマン	平成19年09月	金沢市	1	通報により警察が捕獲後、取得物として保管	警察が民間のワニ園に移送、譲渡
ブラジルカイマン	平成19年09月	金沢市	1	通報により警察が捕獲後、取得物として保管	警察が民間のワニ園に移送、譲渡
ワニガメ	平成20年07月	名古屋市	1	警察より通報。マイクロチップの埋込なし。飼主が申し出たため返還。	飼主が引き続き飼育。
ポアコンストリクター	平成20年07月	柏市	1	ポアコンストリクターを無許可でダンボールに入れ、都内へ移送しようとしたところ、梱包が完全でなかったため、一時的に保管していたストックヤード内で逸走した。管轄の警察署から柏警察署を通して、保健所へ報告があった。	移送先であった都内の業者へ移動。所有者からは廃止届を受理。
ワニガメ	平成20年08月	群馬県	1	一般の住民が発見、捕獲 町役場経由で県関係機関へ	県自然環境森林部局で殺処分
シャムワニ	平成20年08月	福岡県	1	警察	飼主に返還
メガネカイマン	平成20年08月	京都府	1	関係機関による捜索、住民への注意喚起	施設の大幅な変更後、飼養継続
ワニガメ	平成20年08月	愛媛県	1	遺棄:住宅地水路にて捕獲	安楽死

表 地方自治体が確認した特定動物の遺棄・逸走事例一覧（爬虫類つづき）

特定動物	発生時期	自治体	数	捕獲等までの対応	捕獲後の個体処理
ビルマニシキヘビ	平成20年09月	愛媛県	1	遺棄:住宅地水路にて捕獲	動物園にて飼育
ワニガメ	平成20年09月	高知市	1	警察と保健所対応	岡山県のNPO法人に引取依頼
ビルマニシキヘビ	平成20年09月	京都市	1	警察が発見し、捕獲保護	警察より特定動物飼養者に保管依頼し、遺失物法に基づき3カ月保管した後、所有権の譲渡。
ワニガメ	平成21年06月	名古屋市	1	名古屋市環境局、緑生土木局、健康福祉局で協議。民間の研究機関に捕獲を依頼。マイクロチップの埋込がなく飼主特定できず。	民間の研究機関が収容。
ワニガメ	平成21年08月	福岡市	1	競艇場コース内にて発見され、警察署へ遺失物として届出。マイクロチップ装着有無確認するが未装着。	警察署にて遺失物として保管後、処分（飼養可能な施設へ引き渡し）
ワニガメ	平成21年08月	栃木県	1	公園職員が発見し、警察が捕獲収容した。	警察から飼養希望者に譲り渡した。
ワニガメ	平成21年08月	青森県	1	地域住民が警察に通報、警察で捕獲	愛護センターで一定期間保管、その後飼養希望者（特定動物の飼養許可者）へ譲渡
ワニガメ	平成21年09月	名古屋市	1	名古屋市環境局、緑生土木局、健康福祉局から、民間の研究機関に平成21年6月にワニガメが捕獲された河川の調査、捕獲を委託。マイクロチップの埋込がなく、飼主特定できず。	民間の研究機関が収容。
ワニガメ	平成21年10月	愛媛県	1	遺棄:住宅地水路にて捕獲	安楽死
ワニガメ	平成22年	京都市	1	京都市水道局職員が発見、捕獲し、警察に遺失物として届出	警察より特定動物飼養者に保管依頼し、遺失物法に基づき3カ月保管した後、所有権の譲渡。
ワニガメ	平成22年	京都市	1	京都市水道局職員が発見、捕獲し、警察に遺失物として届出	警察より特定動物飼養者に保管依頼し、遺失物法に基づき3カ月保管した後、所有権の譲渡。
ワニガメ	平成22年05月	愛媛県	1	遺棄:住宅地水路にて捕獲	安楽死
ワニガメ	平成22年05月	高知市	1	警察と保健所対応	飼主自身が殺処分
ボアコンストラクター	平成23年	東京都	1	センターで確保	警察署経由で許可施設で保管
ワニガメ	平成23年05月	福岡県	1	警察	飼養許可施設に送付
ワニガメ	平成23年06月	岩手県	1	市役所により通報を受け現場に向かい、現場で捕獲	警察が拾得物として保管（警察署が被災していたため、依頼を受け当センターで保管）、保管期間終了後、ワニガメ保護団体に引渡し
ワニガメ	平成23年06月	富山県	1	遺棄現場付近の住民が保護	殺処分
ワニガメ	平成23年08月	名古屋市	1	警察官から通報。マイクロチップの埋込がなく飼主の特定できず。民間の研究機関に捕獲依頼。	民間の研究機関が収容。
ワニガメ	平成24年03月	新潟県	1	発見者が警察に通報し、警察が捕獲。	動物保護管理センターで一時保管後、警察に返還。

出典：環境省動物愛護管理室調べ（地方自治体へのアンケートによる）